

## 温室におけるエディブルフラワー栽培及び活用方法

研究者 生物サービス科 植物活用コース 齊藤夢月 西村かれん  
 指導者 柳澤瑞樹 小海清二郎 関弘文

### I はじめに

エディブルフラワーとは、主に料理に彩りを加えるものとして使用される食用花のことである。また、廃棄花は開花調整で花柄摘みをしたものを使用した。

### II 目的

- A 温室でのエディブルフラワー栽培において廃棄花を使用した土壌環境を考え、最適な土壌条件を探る。
- B 年齢問わず興味を持ってもらえるようなエディブルフラワーの活用方法を探る。

### III 材料及び方法

#### A 生育調査

- (1) 使用品種 9品目 ペチュニア、マリーゴールド、トレニア、ペンタス、キンセンカ、ナスタチウム、インパチェンス、コスモス、ナデシコ
- 使用用土 プランター用土、もみ殻燻炭、廃棄花堆肥
- 使用廃棄花 ペチュニア、パソジー、ペラルゴニウム
- (2) 実験期間 令和6年3月7日～令和7年6月27日
- (3) 実験場所 佐久平総合技術高校浅間C花温室
- (4) 試験区 もみ殻燻炭区、プランター用土区、花の堆肥区（廃棄花 1.5%）  
 ※土壌条件の比較はプランター移植時以降とする
- (5) 調査項目 草丈、花数
- (6) 栽培暦

播種日	3月7日	
	4月11日	コスモス
ポット上げ	4月18日	
	5月2日	コスモス
プランター移植	5月2日	
	5月23日	コスモス

※各プランター3～4株定植

#### B エディブルフラワーの活用方法

収穫物をその日のうちに調理し、試作品の食味調査を行う。調査項目は、食感、味、見た目とし、5段階で評価する。

### IV 結果と考察

#### A 生育調査

ア) 草丈 6月13日～6月27日の2週間の草丈増加量

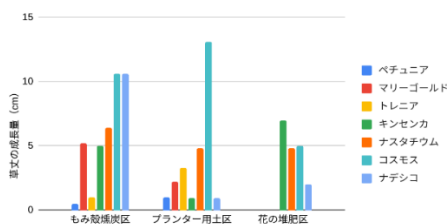


図1 草丈の2週間の成長量

花の堆肥区の生育が最も悪く、もみ殻燻炭区とプランター用土区では差は小さいが、もみ殻燻炭区の方が全体的に生育が良かった。(図1)

イ) 花数 6月13日～6月27日の花数の総計

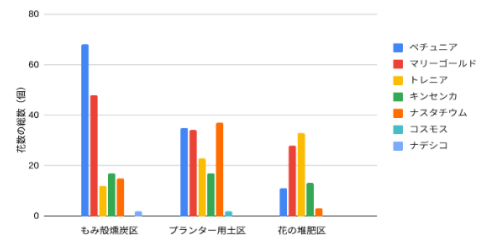


図2 花数の総計

花の堆肥区が最も少なく、プランター用土区、もみ殻燻炭区の順で多かった。(図2)もみ殻燻炭区が最も良かったのは通気性や排水性を高める効果によって水分や養分の吸収率が向上したと考えられる。

#### B 活用方法



写真1 クッキー

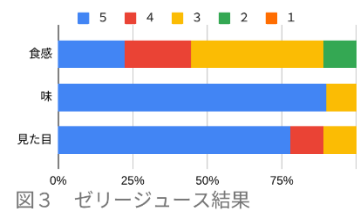


図3 ゼリージュース結果



写真2 ジュース

クッキーやジュースなどの試作品を作った。アンケート結果からは、どちらの試作品も味や見た目で良い評価をもらったが、焼による色の变色やジュース内の分量は改善すべきである。

### V 今後の課題と反省

花の堆肥では、廃棄花の割合が少なく、研究結果が詳しく分からなかったため、来年度の研究では廃棄花の割合を多くして行ってほしい。また、大量のアブラムシが発生し、酢水スプレーを散布したが、効果が見られなかったため、他にも害虫対策を考えなければならない。